



昨年度、市から地域のグラウンドに、真砂土の補充をしてもらいました。そのグラウンドでは、地域のみんながグラウンドゴルフを楽しんでいるので、ありがたかったです。この真砂土の支給は、昨年度だけだったので、昨年度地域のグラウンドを趣味や交流の場などにして、今後も継続していただければと思います。(匿名)

市では、グラウンドゴルフ場などを管理する町内会などに真砂土の支給を行っています。これは、高齢者の生きがい活動(グラウンドゴルフまたはゲートボール)を支援することを目的としています。適度な運動は、加齢とともに訪れる体の機能低下が進むのを緩やかにすることができ、市では、運動を生きがいにするのが、健康づくりや介護予防につながると考えています。さらに、地域の人が集まり、一緒に運動したり、交流したりすることで、コミュニティのきつかけになることも期待しています。ぜひ活用ください。



受けるためには、申請が必要ですが、申請方法など詳しくは、28ページ「けいじばん」をご覧ください。  
問い合わせ先 高齢介護課 032-2066

## つやまっ子に贈る100冊の本

### 人とのつながりが人を成長させる



推薦者  
杉山 茂美さん  
(勝北中学校教諭)

わたしが小学生の時、学校の先生からいただいた本が『太陽の子』でした。

主人公のふうちゃんは、周りの人たちみんなに愛されて育った、明るく元気な女の子。お父さんとお母さんは沖縄から神戸に移住して、琉球料理店を営んでいます。

ふうちゃんが小学6年生のある日、お父さんは心の病気にかかってしまいます。ふうちゃんはお父さんの病気の原因を調べていくうちに「沖縄と戦争」が関係していることに気が付き始めます。お父さんの心の中では終わっていない戦争。お父さんを助けたいふうちゃん。

ん。ふうちゃんを支える周りの人たち。この本は、人が成長するためには人と人とのつながりがとても大切だということを、教えてくれています。

戦争を経験した世代の人が少なくなってきている今、これからの時代を担う子どもたちに、戦争のことを語り継いでいかなければならないと思います。

子どもたちに読書を通じてたくさんのことを学び、感じてほしいですね。



「太陽の子」  
灰谷健次郎 著  
(理論社)

## きらめく津山人

### ピアノでエネルギーの交流を

ピアニスト  
鳥越 由美さん(上河原)



社団法人全日本ピアノ指導者協会津山支部の初代支部長を務める鳥越さん。ピアノを通じて伝えたい思いを伺いました。

始めたきっかけは？

鹿児島県にある実家が楽器店をしていたので、物心ついた時にはピアノを弾いていました。本格的に習い始めたのは、5歳からです。子どもの頃は音が出るのが楽しくて、めちゃくちゃに弾いては、勝手に歌詞をつけて一人で楽しんでいました。小学4年生から6年生までは、楽器クラブに入ってアコーディ

オンや木琴、バイオリンなどピアノ以外のいろいろな楽器にも触れていました。ピアノの魅力は？

「音色」という言葉があるように自分の感覚の中で、音色があると感じた時は本当にピアノが魅力的に感じられました。これは、作陽高校音楽科に在学中の事です。気付くきっかけを与えてくれた2人の先生には、今でも心から感謝しています。

ピアノは、鍵盤に掛かる指先の角度や重みのかけ方などで全く違った音が出るので、演奏者の心が音色に表れる楽器だと思います。逆に言えば、自分の気持ちや表現できます。これもピアノの大きな魅力の一つです。津山の高校を選んだきっかけは？

中学1年生の時から、音楽科がある高校に行きたいと思っていました。実家には音楽関連の資料がたくさんあったので、そ

の中で作陽高校を知りました。

資料を見ていたうちに津山に行ってみたくなって、まず、見学に行くことになりました。訪れてみると、学校もそうですが、津山の町並みや雰囲気がとても良くて、初めてなのに津山のまことに全く違和感を覚えませんでした。それで、その日のうちに津山に行こうと決めました。作陽高校、作陽音楽大学の7年間は、ピアノのノウハウや独自性が学べ、とても充実したものでした。

大学卒業後は？

大学を卒業して鹿児島に戻り、ピアノの講師として働いていました。そんな時、作陽音楽大学で講師を募集していることを知り、再び津山に行くことにしました。この時「わたしは本当に津山と縁があるな」と思っていました。それから津山に住み続けています。

改めて津山に住み始め、リサイタルやコンサートなど、仕事のきつかけをくれた人や精神的に辛い時期に励ましてくれた人たち。人情深く、温かい津山の人に本当に感謝しています。今後の目標は？

これからもピアノを続けて、わたしの演奏を一人でも多くの



▲リサイタルでピアノを演奏する鳥越さん

人に聞いてほしいですね。音楽はすごいエネルギーを持っていると思います。楽器の生音を聞くと元気が出たり、癒されたりもします。わたし自身、演奏をしながら聴衆の皆さまから力ももらっています。演奏を通じて、エネルギーの交流をしたいですね。

津山にもピアノを習っている子どもたちがたくさんいると思います。そんな子どもたちに演奏をする機会をどんどん与えて、演奏を聴いてもらう喜びを知ってほしいですね。

そして、津山が子どもたちに、音楽で夢を与えられるまちなってほしいです。

9月に開催される第8回津山国際総合音楽祭に出演する鳥越さん。心のこもった演奏を聞いて、エネルギーの交流を体感してませんか。